<別冊>

令和６年度
市民が共におこすまちづくり事業　テーマ型協働推進事業 テーマ一覧

	募集テーマ	課名	概要
1	地域防災での女性の活躍について	防災危機管理課	地域防災や自主防災組織の中で、あるいは地域横断・職域横断的な防災活動の中で女性が活躍できるような取り組みが出来る団体を募集します。
2	地域の歴史や文化を発掘・収集し、次の世代にバトンタッチする	生涯学習課	合併２０周年を機に、地域の歴史文化的資源である工芸品や美術品などはもとより、社会的慣習といった無形のものや、写真、映像、書籍など様々な形態の資料を発掘、収集、保存・活用を行うとともに、魅力的に情報発信をすることにより歴史文化についての関心を高め、次世代に引き継ぐための基盤づくりにつなげる。
3	女性活躍推進の取組	市民参画課 共生社会推進室	ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）にある「ジェンダー平等を実現しよう」の達成に向けた取組みの一つとして、女性活躍の推進が求められてます。社会的・文化的に作られた性別（ジェンダー）を問い直し、誰もがお互いを尊重し合い、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現を目指し、女性活躍を推進する取組みを募集します。
4	オーガニックなまちづくりの推進について	農林水産課	国は持続可能な食料システムの構築に向け、「みどりの食料システム戦略」を策定し、その中で、2050年までに目指す姿の一つとして、国内の耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%に拡大することとしています。 有機農業を拡大していくためには、生産部門だけではなく、加工・流通、消費の各段階で取組の拡充が不可欠と考えられます。このうち、市民への有機農業の理解促進や消費拡大等に取り組む団体を募集します。
5	「防災」をキーワードとした地域コミュニティの再生と新たな担い手の育成	市民参画課	災害被害を軽減する大きな力は、直接災害に立ち向かわなければならない地域コミュニティに根ざしたものでなければなりません。かつての「結（ゆい）」や「地縁」に根ざした互助の取組は、災害被害を軽減するための大きな力であり、様々な活動の中で絆が深まり新たな担い手が誕生していました。地域、学校、企業等と連携し、地域コミュニティ防災を通じて新たな担い手の育成に取り組む団体を募集します。

テーマの詳細については個別票をご覧ください。

令和6年度今治市市民が共におこすまちづくり事業（テーマ型協働推進事業）テーマ個別票

1

部局名：　地域振興部防災安全局

課(室）名	防災危機管理課	係名	危機管理室	電話番号	0898-36-1558
テーマ	**地域防災での女性の活躍について**				
概　要	地域防災や自主防災組織の中で、あるいは地域横断・職域横断的な防災活動の中で女性が活躍できるような取り組みが出来る団体を募集します				
内　容	【現状・課題・目標等】 市内における防災士は約1220人で自主防災組織も市内で500を超える組織が存在しているが、その活動には地域や組織によって濃淡が多い。 硬直化している組織も多くなってきており、何かしらの対応が求められる。 今後、女性防災士を育成し地域防災において女性の視点を取り入れた防災活動を行ってゆくことで地域防災の底上げを目指す。				
	【期待する企画提案】 女性視点での避難所運営におけるマニュアル作り（乳幼児の対応方法等） 日常で出来る災害に強くなる家庭内での取り組みの啓発等 地域・職域をまたいだ女性を中心とした防災組織づくりや活動				
	【特記事項】				

令和6年度今治市市民が共におこすまちづくり事業（テーマ型協働推進事業）テーマ個別票

2

部局名：　教育委員会事務局

課(室）名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	0898-36-1602
テーマ	**地域の歴史や文化を発掘・収集し、次の世代にバトンタッチする**				
概　要	合併２０周年を機に、地域の歴史文化的資源である工芸品や美術品などはもとより、社会的慣習といった無形のものや、写真、映像、書籍など様々な形態の資料を発掘、収集、保存・活用を行うとともに、魅力的に情報発信をすることにより歴史文化についての関心を高め、次世代に引き継ぐための基盤づくりにつなげる。				
内　容	【現状・課題・目標等】 地域ごとに特色のある歴史文化的資源があるが、少子高齢化により管理等ができず、これらの資源を次世代に伝えていくことが難しくなってきている。そのため工芸品や美術品などはもとより、社会的慣習、写真、映像、書籍など様々な形態の資料を発掘、収集、保存・活用して記録に残すことが必要となる。 また、今治の歴史文化の魅力を再認識してもらうことが重要であり、広く知られていない資源の掘り起こしや、今あるものに新たな価値を付加することなどを行い、効果的な情報発信が必要である。 これらの取り組みが、地域の活性化やシビックプライドを醸成することになり、地域で歴史や文化を次世代に引き継ぐことにつながる。				
	【期待する企画提案】 ・資源を掘り起こし再認識し、次世代へ伝えていく取り組み ・資料の収集・保存・活用、記録資料の作成を行う取り組み ・広く市民に伝えるために、資料の展示や、学習の機会を提供する取り組み ・歴史文化的資源を活用した地域の活性化の取り組み ・歴史文化的資源の魅力的な情報発信の取り組み				
	【特記事項】				

令和6年度今治市市民が共におこすまちづくり事業（テーマ型協働推進事業）テーマ個別票

3

部局名：　市民環境部市民環境政策局

課(室）名	市民参画課 共生社会推進室	係名		電話番号	0898-36-1530
テーマ	**女性活躍推進の取組み**				
概　要	ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）にある「ジェンダー平等を実現しよう」の達成に向けた取組みの一つとして、女性活躍の推進が求められてます。社会的・文化的に作られた性別（ジェンダー）を問い直し、誰もがお互いを尊重し合い、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現を目指し、女性活躍を推進する取組みを募集します。				
内　容	【現状・課題・目標等】 ・現状として、女性（男性）に向いている役割や責任など、個人の希望や能力ではなく、性別によって生き方や働き方の選択肢や機会が決められてしまうことがある。 ・長年にわたり、人々の中に形成された「女性／男性は、当然●●であるべきだ」といった、性差による固定的な役割分担意識や、偏見・固定観念、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を払拭する必要がある。 【期待する企画提案】 男女双方への研修会・勉強会の開催等、女性活躍推進につながるための取組みを期待しています。 ・固定的な性別役割分担意識等の解消 ・ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の両立）の推進 ・女性のエンパワーメントの促進 ・男性の家事・育児・介護等への参画促進　　など 【特記事項】				

令和6年度今治市市民が共におこすまちづくり事業（テーマ型協働推進事業）テーマ個別票

4

部局名：　産業部産業政策局

課(室）名	農林水産課	係名		電話番号	0898-36-1542
テーマ	**オーガニックなまちづくりの推進について**				
概　要	国は持続可能な食料システムの構築に向け、「みどりの食料システム戦略」を策定し、その中で、2050年までに目指す姿の一つとして、国内の耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%に拡大することとしています。 有機農業を拡大していくためには、生産部門だけではなく、加工・流通、消費の各段階で取組の拡充が不可欠と考えられます。このうち、市民への有機農業の理解促進や消費拡大等に取り組む団体を募集します。				
内　容	【現状・課題・目標等】 国が目指す目標25%に対して、現在、国内における有機農業の耕地面積の割合は約0.6%であり、今後、いかに有機農業の拡大を図っていくかが大きな課題となっています。 一般のスーパーマーケット等においては、有機農産物の取扱いは非常に少なく、また、消費者が、有機農産物の環境にやさしく、体にもやさしいといった付加価値を、価格等より優先して選択するというような状況にはなっていません。 有機農産物の生産拡大の流れを作るためには、消費者の有機農業に対する理解を深め、環境や健康に配慮したものを選ぶなどの行動変容を促進し、需要を喚起して、消費を拡大することが不可欠です。				
	【期待する企画提案】 有機農業に対する理解を深め、有機農産物の需要を喚起するため、広く市民を対象とした次のような事業を期待します。 ・有機農業や有機農産物をテーマとした講演会、研修会又はワークショップ等の開催 ・有機農産物をテーマとしたマルシェ等の開催 ・有機農産物を使った魅力的な新商品の開発等に係る取組				
	【特記事項】 特定の個人、団体又は企業だけのために行う事業は対象外です。商品開発等に係る取組についても、成果及びアイデアは広く市内の事業者が利用可能なものに限ります。（バリブレストの例を参考）				

令和6年度今治市市民が共におこすまちづくり事業（テーマ型協働推進事業）テーマ個別票

5

部局名： 市民環境部市民環境政策局

課(室）名	市民参画課	係名	市民生活係	電話番号	0898-36-1530
テーマ	**「防災」をキーワードとした地域コミュニティの再生と新たな担い手の育成**				
概　要	災害被害を軽減する大きな力は、直接災害に立ち向かわなければならない地域コミュニティに根ざしたものでなければなりません。かつての「結（ゆい）」や「地縁」に根ざした互助の取組は、災害被害を軽減するための大きな力であり、様々な活動の中で絆が深まり新たな担い手が誕生していました。地域、学校、企業等と連携し、地域コミュニティ防災を通じて新たな担い手の育成に取り組む団体を募集します。				
内　容	【現状・課題・目標等】 ・これまで地域社会を支えてきた地縁といった関係性が希薄化してきている。また、自治会への加入者が減少し自治会の高齢化問題が進み、地域コミュニティは衰退してきている。 ・地域、学校、企業等、様々な立場の地域関係者に事業に参加してもらうことで顔の見える関係を構築し、「防災」をキーワードとして地域コミュニティの再生を図るとともに、参加者が地域で想定される災害について認識を共有し、災害に備えるために必要な実践的な訓練を地域が主体的に考え実践していく中で、新たな担い手を育成していく。				
	【期待する企画提案】 ・フォーラムの開催 ・地震避難・被害に特化したワークショップ ・台風避難・被害に特化したワークショップ ・実働訓練実施				
	【特記事項】 ・特定の団体だけのために行う事業は対象外です。地域、学校、企業等で事業を行う団体を募集するものです。				